

第 回 避難訓練 (平成 年 月 日)

訓練実施責任者：

避難誘導：

記録係：

非常持ち出し袋を持つ者：

移動時の見守り配置人員：



進行方向



☆○○○○○○○☆○○○○○○○☆

職員 利用者 職員 利用者 職員



タイムキーパー：



時間：

振り返り



対応策

当日の流れ



- 避難訓練に参加する者、人数の事前確認
- 地震が発生したと想定しての行動（机の下の避難等）、その後、一時避難場所に移動
- 点呼
- 実際の避難経路を使い移動…災害時を想定（道路、建物の倒壊等）して移動する。
- 避難経路上の注意する点 …カメラ等で記録
 - 段差 危険な物 倒壊しそうな物 確実な目印の確認
 - 交通量…自動車等の往来 一時的に休憩できそうな場所
 - その他
- 避難経路上での社会資源は？
 - コンビニ 交番 消防署 公園（一時的に休憩できそうな場所）
 - その他
- 再度、点呼 → 訓練実施責任者に報告
- 再び、同じ経路を使って戻る。



非常持ち出し袋の内容…

しっかりとしたリュック（背面パッドがある物や、肩ひもは幅広でやわらかい物等）が重い物を入れた時、楽です。

- 水 ヘルメット 非常食 懐中電灯
- ラジオ 毛布 薬 タオル
- 軍手 コミュニケーションツール（紙、筆記用具、絵カードやホワイトボード、iPad等）
- ビニール袋 遊具（ペン、メモ、ゲーム、マンガ等） 身分証明書等
- カメラ（記録用） 地図（避難訓練用） 点呼表
- その他 { _____ }

（チェックを入れ、確認してください）

メモ